

ロシア  
東 欧

# 経 済 速 報

社団法人 ロシア東欧貿易会 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル 郵便番号104 電話 (3551)6215~9  
ロシア東欧経済研究所 購読料 送料共前納 ・ 1ヵ月 1,200円 1ヵ年 14,000円

平成7年8月25日

No. 998

## 塗り替えられるCISのアルミ業界地図

はじめに

前回の速報でもお伝えしたとおり、このところ日本の対ロ輸入は大幅な伸びを示しており、なかでもアルミニウムの輸入急増には目を見張るものがある。そこで本号では、ロシアのアルミ輸出が増大している背景にある、CISのアルミ業界の再編についてのレポートをお届けする。とくに、ロシアのアルミニウム工場が手がけているトーリング（委託加工）取引と、その背後で暗躍する欧米のトレーダーに焦点を充てる。

ここ2、3年の間に、ロシアのアルミ業界は急激に外国のトレーダー（そのほとんどがユダヤ系であるといわれる）の影響下に組み込まれた。そのため、部外者がロシアの工場から直接アルミニウムを買い付けるのは困難な状況となっており、日本の各社はロンドンやニューヨークの市場で、ロシアでトーリングを手がけているトレーダーから国際価格で買い付けているようである。

日本への流入パターンとしては、大口ユーザーの工場が日本海側に集中していることもあり、ナホトカに着荷したアルミニウムを国際価格で引き取るというのがもっとも一般的であるとみられる。ロシア製のアルミニウムは不純物（シリコン／鉄）含有量が多いため、日本のユーザーのほとんどはアルミサッシ・メーカーとなっているという。